

(株) 第一興商 第 30 回番組審議会議事録

- 日 時 平成 28 年 5 月 20 日 (金) 16 : 00 ~ 17 : 30
○場 所 第一興商・本社 3F 会議室
○議 題 ・スターデジオ・トピックス
・スターデジオ (100ch 音楽ラジオ)

番組審議会委員・出席一覧 (敬称略) 16 名出席

《出席者》

平尾 昌晃	作曲家 (審議会委員長)
音 好宏	上智大学教授 (議長)
弦 哲也	作曲家
湯川 れい子	作詞家/音楽評論家
ボブ 佐久間	作曲家/指揮者
山下 典子	企画制作プロデューサー
伊藤 薫	作詞/作曲家

(株) 第一興商・出席者一覧

林 三郎 代表取締役社長

BGM 放送事業部

渡辺 宏	BGM 放送事業部部長
瀧本 茂	BGM 放送事業部次長
八巻 任	企画推進課課長
吉倉 聡	放送制作課課長
榎本 篤	企画推進課リーダー

番組審議会事務局

細本 正樹	放送制作課リーダー
磯部 智子	企画推進課チーフ
田中 千尋	放送制作課

1. 2015年度 第一興商・トピックスの報告

- 1) 業務用カラオケのフラッグシップ機『LIVE DAM STADIUM』の発売
- 2) エルダー事業の拡がり
①自治体との取り組みについて ②他企業とのコラボレーションについて
- 3) 東京証券取引所第一部へ市場変更（平成 27 年 12 月 11 日）
- 4) スターデジオ(一般家庭向けサービス)の加入状況
- 5) スターデジオ/スターダム(業務用サービス)加入状況
- 6) スターデジオ・トピックス
2016年4月チャンネル改編実施（新規チャンネル 8ch、終了チャンネル 8ch）
テーマ：歌いたくなる BGM のラインナップ強化

2. 放送番組審議会

《テーマ》 2016年改編、新チャンネルについて

ー対象チャンネルー

- Ch.418 青春のアイドル(70&80年代)
- Ch.445 モダンジャズ
- Ch.429 1960年代歌謡ヒット
- Ch.499 昭和流行歌(昭和初期～34年頃)

1) 青春のアイドル(70&80年代)

○放送局説明

改編前は[アイドル NOW、青春のアイドル]という1つのチャンネルの中に、新旧アイドルの楽曲が混在していたが、改編後は1970年代、1980年代で区切り懐かしいアイドルのみの選曲へ変更しました。

◎審議委員

こだわって丁寧に選曲できていると思いますが、このチャンネルに関しては代表曲ではないものがあり、曲だけを聴いただけでは誰だかわからないものがあります。

ヒットしたか微妙な意外な曲が選曲されている。

それを選曲しているのはあえて差別感を持たせているのでしょうか。

◎審議委員

キーとテンポが同じような曲が続いているので聴きにくいです。
マイナーな曲は変化のある曲を並べた方がいいのではないのでしょうか。
(ヒット曲の編成であればこのようなことは必要ないと思います。)

2) モダンジャズ

○放送局説明

改編前は[ジャズアーティスト特集][ジャズ名盤アルバム]などの特集として行っていましたが、改編後は 1950 年代、1960 年代のジャズ名曲をお伝えする専門チャンネルを立ち上げオムニバス形式に選曲をしました。

◎審議委員

選曲が素晴らしく大変ビックリしました。
1953 年～1954 年頃、アメリカでビ・バップが盛んでモダンジャズという言い方がまだされていない、有楽町のジャズ喫茶「コンボ」に通っていた時代に聴いて今でも探し続けていた曲がいただいたデモに入っていてとてもビックリしました。

◎審議委員

STAN GETZ QUARTETS「WHAT'S NEW」から BILL EVANS TRIO「AUTUMN LEAVES」の組み合わせも良く意図的になされているのでしょうか。

3) 1960 年代歌謡ヒット

○放送局説明

改編前は [昭和歌謡曲] の中に昭和初期から 70 年代まで楽曲を選曲していましたが年代を分けて 1960 年代(昭和 35 年～44 年)にヒットした曲を選曲しました。

◎審議委員

こだわって丁寧に選曲していて代表曲を選ばれてわかりやすいです。
昔は夜のヒットスタジオ、ベストテンなど音楽のジャンル分けはなくごちゃ混ぜでした。
昨今は一定のジャンルしか聴かないなど、こだわり過ぎている。ジャンルは取っ払ってもいいのでは。ビートルズと松田聖子が同じジャンルでもいいのではないのでしょうか。

◎審議委員

まず耳で聴いて懐かしい気持ちになり、青春を過ごした思い出が浮かび、歌いたいという思いにさせカラオケにつなげる狙いと方向性が良いと思いました。

4) 昭和流行歌(昭和初期～34年頃)

○放送局説明

改編前は「昭和歌謡曲」の中に1つのチャンネルにすべて選曲していましたが年代を分けて昭和初期から34年頃までにヒットした曲を選曲しました。

◎審議委員

昭和34年～日本の高度経済成長期に流れていた音楽は、画面を見ず作業をしながら聴く方が多いと思いますので、曲始めのナレーションが入る編集や構成、昭和がテーマのキーワードや歌手名・タイトル・詞曲者紹介などが入るといいなと思いました。

そしてさらに歌いたいという思いにさせ、カラオケの訴求にもつながると思いました。

◎審議委員

(曲始めのナレーションが入る編集や構成について)

ドキュメンタリーTV、ニュース、東京オリンピックの実況中継などを入れると雰囲気があるのでないでしょうか。

◎審議委員

(曲始めのナレーションが入る編集や構成について)

時代の背景までは詳しくしなくてもいいが、せめて年代だけでも出したらどうか。

昔の人が喜ぶチャンネルですのでいいと思います。

◎審議委員

これらの曲を聴く方は現在70～80歳代で、これを流して喜ぶのは老人施設以外でどういった施設や場所でしょうか。内容は丁寧に選曲されています。

◎審議委員

この音楽を聴く年代の方は高齢者の方で耳がだんだんと弱くなっていると思いますので、科学、技術的なもので対策をされてはいかがでしょう。私の経験でPAなどない高齢者施設で演奏をしている時、本当に聞こえているのかと思う時があります。

◎審議委員

昔はテレビもなくラジオだけだったが、耳から聴くラジオが印象に残っているのではないのでしょうか。そしてこのチャンネルはありがたく、普段聞けない音楽で今後介護の方にも力を入れるのであれば大切にしていってほしいと思いました。

○放送局

貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。

以上